

歴史講演会（全6回）

「桜田門外ノ変」の時代 ～幕末の水戸藩～

第2回

水戸藩の天保の改革と
徳川齊昭公

講師：安見 隆雄 氏

（水戸史学会副会長、元県立・私立学校校長）

日時：平成20年10月26日（日） 9時30分～11時30分

場所：茨城県三の丸庁舎 A会議室（定員50名）

参加費：無料（ただし、駐車場は有料となります）

申込み：FAX 又は E-mail にて申し込んで下さい

主催・問い合わせ先

水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会

ホームページ：<http://www.mitoppo.jp>

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎

TEL/FAX:029-303-0310

E-mail：info@mitoppo.jp

水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会

「桜田門外ノ変」の時代 ～幕末の水戸藩～

第2回 水戸藩の天保の改革と徳川斉昭公

会場までのアクセス
水戸市三の丸 1-5-38
Tel 029-224-4061

< 内容 >

水戸藩九代藩主徳川斉昭公(1800～1860)の天保の改革は、藩政上・学問教育に大きな業績を残し、幕府や諸藩にも多大の影響をあたえました。領内検地や武士の土着の改革のほか、弘道館を創設して人材を育成し、尊王攘夷・文武両道の教えは「水戸学」として全国に普及し、幕末・維新の時代を推進する原動力となりました。桜田門外ノ変は、その一つの現れであります。激動の時代の中で斉昭公の生涯は波乱万丈を極めました。これについて考えてみていきます。

< 講師 : 安見 隆雄 氏 >

1940年笠間市生れ。1962年茨城大学文学部卒業。同年より県立高等学校教諭。1984年より茨城県歴史館史料部史料室勤務(6年間)。1990年～県立高校教頭(2校)、1994年～同校長(水戸第一など3校)、2000年～学校法人明秀学園日立高等学校校長(4年間)。

※主な役職等 水戸史学会副会長、日本学協会評議員、茶道裏千家専任講師ほか

主要著書 『水戸光圀』(水戸史学選書、錦正社)、『水戸烈公と偕楽園記碑』(水戸史学碑文シリーズ、錦正社)



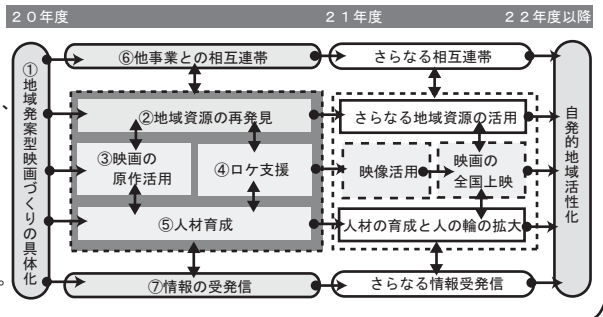
歴史講演会 (全6回)

「桜田門外ノ変」の時代 ～幕末の水戸藩～

- 第1回 『大日本史』編纂と水戸藩
9月27日(水戸市)
- 第2回 水戸藩の天保の改革と徳川斉昭公
10月26日(水戸市)
- 第3回 「桜田門外ノ変」こぼれ話
11月30日(水戸市)
- 第4回 史料でみる「桜田門外ノ変」①
12月23日(水戸市)
- 第5回 史料でみる「桜田門外ノ変」②
1月11日(水戸市)
- 第6回 天狗騒乱と幕末の水戸藩
1月25日(水戸市)

『桜田門外ノ変』映画化支援の会の活動概要

江戸の末期、水戸藩による幕政改革をめざした学問・教育思想は、押し寄せる列強の脅威に対して、諸藩を「尊王攘夷」の旗印の下に糾合させるバックボーンとなりました。さらに、幕権回復のために断行された安政の大獄に起因する水戸藩浪士らによる「桜田門外ノ変」は、幕末日本に大きな転機をもたらし、雄藩や尊攘志士らの列強との交戦、続く明治維新への先駆となりました。私たちは、水戸藩が最も熱く燃えた日々を郷土の美しい風景とともに映し出す『桜田門外ノ変』の映画化をめざします。どうぞ皆さん、この映画づくりへの支援活動と、それを起爆剤とした多彩なまちづくり活動(講演会や史跡めぐり、交流事業ほか)に是非ご参加下さい。茨城はもとより日本全国に向けて、混迷する現代を見すえ新たな時代を切り拓く「機運」を醸成していきましょう。



参加申込書

講座名 < 歴史講演会 第2回 水戸藩の天保と徳川斉昭公 >

所属 _____

氏名 _____

電話 _____

Fax _____

Eメール _____

お申し込み 電話(Fax兼) 029-303-0310

※頂いた個人情報は適切に管理いたします。
※事務局からイベント等のご案内をさせて頂くことがあります。